

GOSAT-GWの準備状況等

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構

GOSAT-GW プロジェクトマネージャ

小島 寧



GOSAT-GWの概要

GOSAT-GW



GOSAT-GWは
AMSRシリーズとTANSOシリーズ
のハイブリッドミッション

AMSR

AMSR-E

AMSR2

AMSR3

AMSR3

TANSO-3

GOSAT-GW

2025年6月24日打上げ予定

TANSO-2

いぶき2号 (GOSAT-2)
2018年～運用中

TANSO

いぶき (GOSAT)
2009年～運用中

TANSO-3

TANSO-2

TANSO

3者共同ミッション

NIES
国立環境研究所

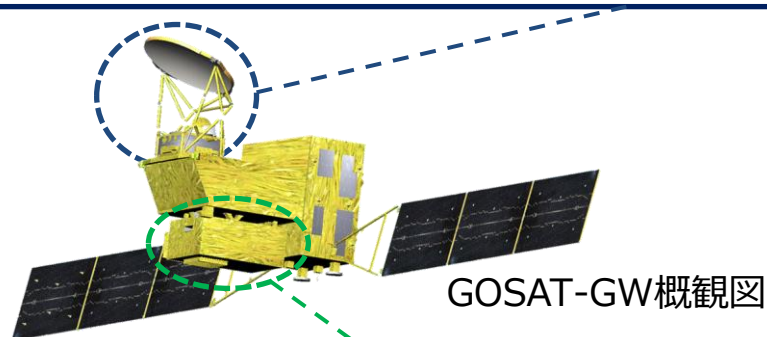
環境省

JAXA
宇宙航空研究開発機構

高性能マイクロ波放射系3：AMSR3

Advanced Microwave Scanning Radiometer 3

- 地表や海面、大気などから自然に放射されるマイクロ波を観測するセンサ
- GCOM-Wに搭載された**AMSR2から観測可能な波長帯を増強し、降雪や上層の水蒸気の観測が可能**



GOSAT-GW概観図

システム主要諸元

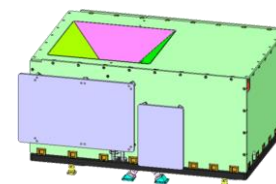
運用 軌道	種類	太陽同期準回帰軌道 1日 14+2/3周
	高度	666km、回帰3日（GOSATと同様）
	昇交点 通過地方 太陽時	13:30±15分（GCOM-Wと同様）
衛星質量		約2.6トン
発生電力		約5.3kW
設計寿命		7年以上
打上げ		H-IIAロケット（50号機）
観測運用		TANSO-3：地表日照域観測 AMSR3：常時観測
ミッションデータ 伝送		直接伝送(X)：400 Mbps 直接伝送(S)：1 Mbps（AMSR3のみ）

衛星及び各搭載センサについては、三菱電機株式会社がプライムメーカーとして担当

温室効果ガス観測センサ3型：TANSO-3

Total Anthropogenic and Natural emissions mapping Spectrometer-3

- 温室効果ガス排出量の推定精度向上を目的として地球上の温室効果ガスを観測するセンサ
- 回折格子型分光方式を採用し、**面的な観測が可能**となり、**より多くの観測データの取得が可能**



TANSO-3は環境省からの委託によりJAXAが開発を担当

GOSAT-GWはH2Aロケット50号機(最終号機)により2025年6月24日(火) 打上げ予定

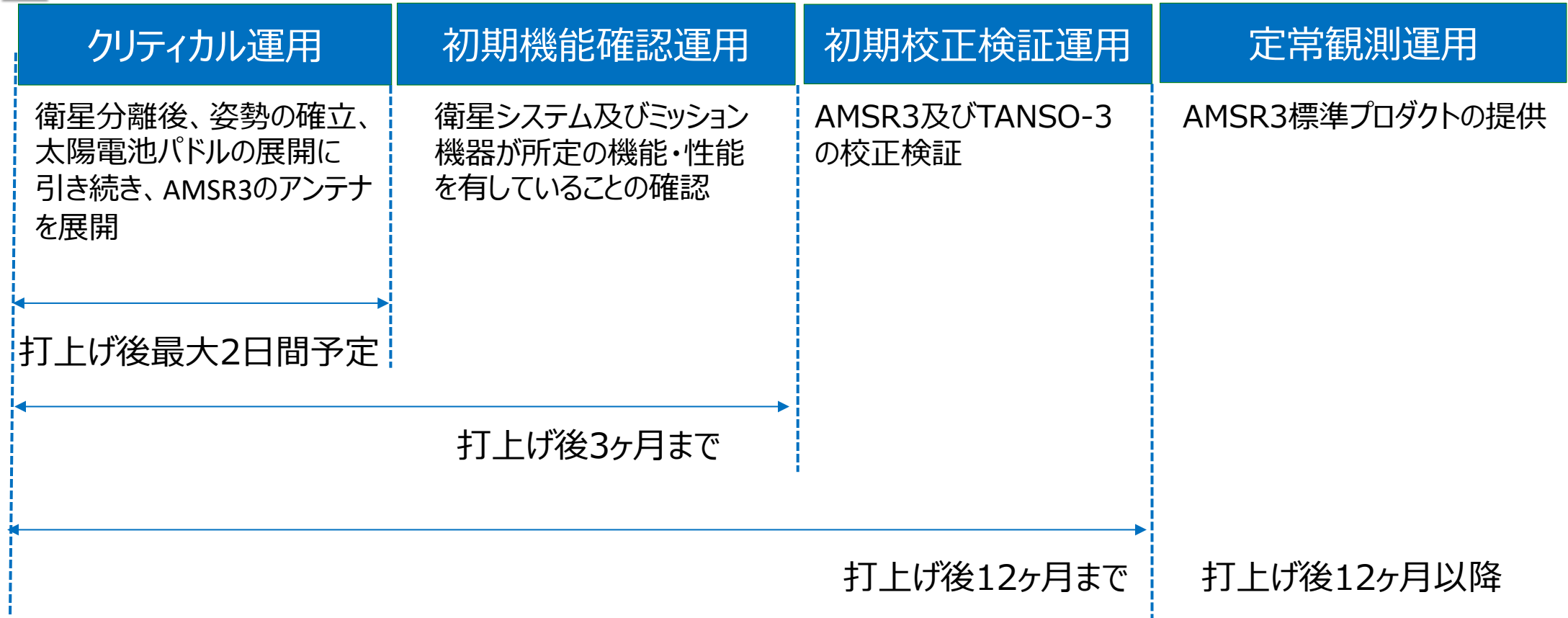
打上げ予定時間帯

1時33分03秒～1時52分00秒(日本標準時)

打上げ予備期間

2025年6月25日(水)～2025年7月31日(木)

打上



TANSO-3データは環境省/国環研より提供

